土地と住まいの専門紙
フクニチ住宅新聞

九州全域で事業展開を強化

ファミリー 宅建免許を国交大臣免許に変更

橋本大輔社長に聞く

さらなる飛躍へ 長崎支店開設

九州全域を視野に 鹿児島、大分にも支店設置めざす

ファミリー（福岡市、橋本大輔社長）は5月29日付で、宅地建物取引業免許を福岡県知事から国土交通大臣に変更し、同日、長崎市内で長崎支店を開設した。今後は鹿児島、大分でも支店を設けていきたいと考えており、福岡県内のみならず九州一円での安定した住宅の供給体制の構築をめざす。支店を置く狙いと今後の展望について、橋本社長に聞いた。

福岡県内を中心に長崎、鹿児島、大分県内などで 分譲マンション88棟を供給

6月時点

春の叙勲で黄綬褒章を受章した橋本大輔社長

好調なエリア、社員の要望で支店開設

同社の国土交通大臣免許への変更は2回目。以前の国土交通大臣免許の時は東京に支店を設けていたが、2008年のリーマン・ショックの影響などから支店の撤退を余儀なくされ、福岡県知事免許に戻したという経緯がある。今回はそれ以来、約12年ぶりの大臣免許への変更となる。

橋本 当社の創業以来の分譲マンション供給棟数は今年6月時点で88棟。福岡県内を中心に、最近では長崎、鹿児島、大分県内などでも供給している。この3県は分譲マンションのニーズが高いエリアで、当社がこれまでに供給した物件の売れ行きは比較的好調に推移している。そんな折、長崎県内を担当する社員から「長崎に支店を開設したい」と要望があがった。この社員は30代前半の当社生え抜きで、長崎県内の市場性や自身のさらなるステップアップなどを勘案しての要望だった。長崎のマーケットの状況や社員のモチベーション向上などの観点から、支店の設置は当社の事業に大きな効果をもたらすと判断して支店の設置を決めたが、福岡県知事免許では他県に支店を設けることができない。そこで4月末ごろに国土交通大臣への免許変更を申請し、5月29日付で受理されたことを受けて長崎市内に支店を設けた。要望を出した社員は支店長とした。

長崎市内では「ファーネスト城山パークス」（長崎市、8階建て27戸）が3月に完売。長崎支店は先月29日にマンションギャラリーをオープンした「ファーネスト附属小前レジデンス」（長崎市、10階建て18戸）の販売のほか、今後の供給に向けての用地確保などを積極的に展開している。将来的には、当社グループが手掛ける戸建住宅や賃貸マンション、分譲マンションの販売代理および買取再販なども展開し、現地での社員採用なども行って事業を拡大していきたいと考えている。また鹿児島県や大分県にも、体制が整えば支店を設けたいと考えている。福岡県内の分譲マンション事業が当社の柱であることに変わりはないが、今後は支店を置くことで、ワンストップで対応できる拠点を九州エリアに展開し、当社の事業基盤をより強固なものにしていきたい。その意味で今回の国土交通大臣への免許変更は、当社にとって非常に大きな意味を持つものであると受け止めている。

長崎市内で供給する「ファーネスト附属小前レジデンス」（完成予想図）

戸建住宅で新商品

新ブランド「ａｒｕｎｅ」を供給

グループ売上高 年商100億円も目前に

福岡県内では新規物件6棟を供給へ

福岡県内の分譲マンション事業は、最近では「ファーネスト白木原駅前レジスタ」（大野城市、13階建て46戸）が完売、「ファーネスト箱崎九大前レジスタ」（福岡市東区、8階建て64戸）が完売目前となっているほか、新規物件の供給も好調に推移している。また戸建住宅事業で、新ブランド「ａｒｕｎｅ」の販売を開始した。

橋本 福岡県内の分譲マンションは、4月に「ファーネスト西新レジデンス」（福岡市早良区、6階建て29戸）が竣工して建物内モデルルームを公開している。また6月から「ファーネスト大橋三丁目ルシエ」（福岡市南区、7階建て34戸）の資料請求受付を開始したほか、「ファーネストプレミアムクラス平和Ⅱ」（福岡市南区、地下1階、地上4階建て19戸）の販売も控えている。今後は「大橋三丁目ルシエ」を含めて福岡市内や大野城市などで合計6棟の新規物件を供給していく計画で、コンスタントに分譲マンションを供給する体制は整っている。

戸建住宅の新ブランド「ａｒｕｎｅ」は、すでに福岡市内や近郊で販売を開始している。「ａｒｕｎｅ」という名前には家づくりへのこだわりや住みやすさ、安心して暮らすことができるサポート体制などが〝あるね〟という思いで、家づくりを通して家族の笑顔を届けたいという当社の願いを込めている。30歳代のファミリー層をメインターゲットに、現在は主に1～4区画程度の宅地を確保しながら戸建住宅を供給している。分譲マンション事業で培ったノウハウも戸建住宅に還元し、将来的には分譲マンションと双璧となる事業に成長させていきたい。

【物件概要】▽名称／ファーネスト附属小前レジデンス▽地番／長崎市昭和1丁目745番2▽交通／長崎バス・長崎県営バス「昭和町」バス停徒歩1分、長崎電気軌道「昭和町通」電停徒歩12分、同「千歳町」電停徒歩13分、JR長崎本線「西浦上」駅徒歩14分▽敷地面積／503・61平方㍍▽建築延床面積／1853・53平方㍍▽構造・規模／鉄筋コンクリート造・地上10階建て▽総戸数／18戸▽間取り／3LDK▽住居専有面積／71・88～78・38平方㍍▽竣工予定／2020年6月中旬▽入居開始予定／2020年7月下旬

4月に竣工した「ファーネスト西新レジデンス」

【物件概要】▽名称／ファーネスト西新レジデンス▽地番／福岡市早良区城西2丁目287番1▽交通／福岡市営地下鉄「西新」駅徒歩10分、福岡市営地下鉄「別府」駅徒歩13分、西鉄バス「城西橋」バス停徒歩5分▽敷地面積／1395・38平方㍍▽延床面積／2790・30平方㍍▽構造・規模／鉄筋コンクリート造・地上6階建て▽総戸数／29戸▽間取り／2LDK、3LDK▽住居専有面積／60・31～76・13平方㍍▽竣工／2019年4月▽入居開始日／即入居可

黄綬褒章受章は社員をはじめ皆さんのおかげ

橋本社長は5月に発表された春の叙勲で黄綬褒章を受章した。ファミリーとしても、国土交通大臣免許への変更や戸建住宅の販売強化など、元号変更後もさまざまな取り組みを進めている。

橋本 当社は創業27年目を迎えるが、私自身は創業前から不動産事業に従事している。今回の黄綬褒章受章は、これまで関わっていただいたお客さまや取引先、同業の諸先輩方、また当社の社員など多くの方々のおかげであり、大変感謝すると同時に、この栄誉に恥じぬよう今後は微力ながらこの不動産業界の発展に尽力していかなくてはならないと受け止めている。

当社は創業以降、本当にさまざまな難局を迎えてきたが、一番の難局は先に述べたリーマン・ショックだ。当社は当時東京に支店があって関東圏でも分譲マンションを供給していたこともあり、不況下で販売が進まなくなった在庫の処理をどうするか、幹部全員と休日も関係なく話し合いを重ねた。金融機関とも調整しながら在庫処理を進め、おおむね1年間でメドをつけることができた。この時期を乗り越え、企業として生き延びることができたからこそ、現在の当社があることは間違いない。また先の長崎支店の話でも触れたが、当社は大学卒業からの生え抜きの社員が、今では営業部門、仕入部門、総務部門、グループ会社のそれぞれの責任者となっており、これらの社員がしっかりと当社の戦力になり、現在の会社の屋台骨を支えてくれていることは、私自身非常に嬉しいことだ。今年度も大学卒の新入社員3人を採用した。将来的に当社を支え、盛り上げる社員となるよう、人材育成も進めていきたい。

福岡県内を中心とする分譲マンション事業を軸に、当社グループの今年度売上高は約95億円を見込んでいる。100億円という数字も見えているが、その数字に固執することなく、当社が進める事業を着実に進めることで、企業のさらなる成長をめざしていきたいと考えている。

【会社概要】▽商号／㈱ファミリー▽本社所在地／福岡市中央区天神5－7－1ファーネスト天神ビル▽設立／1992年9月▽資本金／2000万円▽代表者／代表取締役橋本大輔▽事業内容／分譲マンション開発（ファーネストマンションシリーズ）、戸建開発（ファーネストヴィラ・タウン・コート、ａｒｕｎｅ）、収益賃貸マンション開発（エフパルクマンションシリーズ）、不動産流通、建築・リフォームなど▽グループ会社／㈱ファミリー・クリエイト、㈱エフスタイル、㈱ファミリー・不動産買取販売、㈱ファミリー・サポートシステム

▽長崎支店住所／長崎市浜口町2－2▽長崎支店電話／095－841－8080

次号（7月26日）は夏季特別号

フクニチ住宅新聞は毎週金曜日に定期発行しておりますが、次号は夏季特別号につき、7月19日号は26日号と合併号とし、26日に発行します。19日は休刊となります。ご了承下さい。

フクニチ住宅新聞社